

# あうみネット



淡海の市民活動・ネットワーク情報交流誌  
Collaboration Paper for Voluntary Network in Ohmi

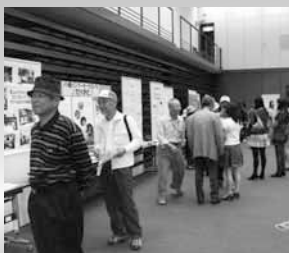
No.  
**77**

2011年 春号

●発行日 / 2011年3月1日 ●発行所 / (財) 淡海文化振興財団

## 「つながり広場」ボランティア、出店者募集中!

市民活動団体の紹介、交流イベントを開催。各団体のブース展示、フリーマーケット、楽器演奏、多国籍料理の屋台など、盛りだくさん! ボランティアスタッフ、出店者、演奏者を募集中!!一緒に楽しみましょう!



日時●5月22日(日) 会場●安土文芸の郷  
連絡先●NPO法人近江八幡市中間支援センター  
TEL: 0748-36-5570 FAX: 0748-36-5553  
URL: <http://npo-omi8man.com/>  
e-mail: [chukan@npo-omi8man.com](mailto:chukan@npo-omi8man.com)



## 里山付き菜園セミナー L-farm 比良 現地説明会 ~年間3千円で、あなたも菜園オーナー!~

琵琶湖が一望できる菜園(1区画16㎡)で、お好きな農作物を育ててみませんか? 里山での楽しいオプションメニューも盛りだくさん。比良の四季折々の自然を満喫して頂けます。道具レンタル、インストラクター付き(有料)。

日時●3月6日(日)~27日(日)

13:00~15:00

(毎日曜日/区画決定次第終了)

会場●大津市南比良まほろばの里

参加費●無料(要申込)

定員●15区画(先着順に当日契約も可)

連絡先●(社)比良里山クラブ

e-mail: [info@hira-satoyama.net](mailto:info@hira-satoyama.net)

FAX: 077-527-2833

公式サイト: <http://hira-satoyama.net/>



## 特集●淡海とびっくす ②

いち にさん

## 1・23フォーラム報告

~寄付でつくる地域の未来~

## ■NPOさぼーとぼけっと ①

ITによる情報発信の可能性

## ■市民団体活動紹介のわっ ⑤

- 育児広場アプリコット
- 特定非営利活動法人 健康づくり0次クラブ
- 特定非営利活動法人どこでも介護

## ■あうみネット★INFORMATION ⑦

## 運営委員 VOICE

### 「わたしの市民活動の原体験」

若林忠彦

(しがぎんリース・キャピタル株式会社 専務取締役)

昨年5月町内の春祭りの太鼓渡御に参加しました。

出立の時間が来ると春祭りのために帰省した普段顔を見たことの無い人達も含め、沢山の町内の住民が一堂に会し、懐かしそうに声を掛け合い、瞬間に一体となり呼吸を合わせて渡御を進行している姿を鮮明に覚えている。

そこには、何百年も営々と続く、住民が積極的に楽しみながら、時代とともに改革をして現在も守り続けている確かなものがあると確信しました。遠くにいる人も今住んでいる人も故郷を意識する一日です。

楽しんで、地域が一体となり、価値観を共有し、連帯感を持ち活動する、市民活動とはこのように在りたいと意識した原体験であった。

※運営委員は、市民の意見を当財団の運営に反映するため、公募も取り入れた委員を設置しています。



## おうみ未来塾 リレーエッセイ

Ohmi Miraijyuku Relay Essay

### 笑顔と笑いの輪を広げよう!

3期生 西村ますみ  
グループ: 駄菓子探偵団

昨年から滋賀県内で暮らしに活かせる笑顔と笑いを広げる仕事をしています。地域では「もりやまニコニコ人座(にんご)」を立ち上げ、みんなが笑えて笑顔になれる場づくりを目標に活動しています。笑顔や笑いは、健康になり、人間関係を良くし、仕事の能率や効率をアップさせる効果があります。おうみ未来塾で学んだ地域プロデュースのノウハウを活かした活動が、遅ればせながらようやく形になりつつあります。これから笑顔や笑いの輪をもっともっと広げたいと思っています。

駄菓子探偵団は、現在、活動が休止していますが、ぜひ再開したいと思います。団員のみなさん!この場をお借りして呼びかけさせていただきます。連絡まっています。

※おうみ未来塾は、地域の課題解決を実践する「地域プロデューサー」が育つ塾です。



## ●NPOさぼーとぼけっと●

あなたのNPO活動をサポートする情報をお届けします。

## NPO SUPPORT POCKET

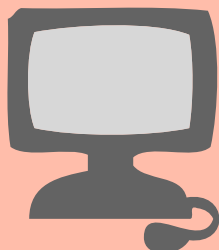
### ITによる情報発信の可能性

今回は、NPOに役立つITシリーズ最終回です。市民活動へのITとの出会いから、誰でも始めやすいツールであるブログについて紹介してきました。最終回は、市民活動にITを取り入れていただきたいと考える、当センターからの熱い思いをお伝えします。

#### ①ITが理解者、寄付者をつないでくれます!

市民活動を続ける上では、活動について理解してくれる賛同者を増やし、具体的な応援としての会費や寄付を集めることが、活動を広げるためには重要です。全国でもパソコン普及率が高い滋賀県、ITを活用して活動を多くの人に発信していただきたいと思っています。

当センターでは、2011年4月から市民の想いを込めた寄付を市民活動の助成につなぐ「未来ファンドおうみ」を創ります。寄付者の思いがどんな団体のどんな事業に助成されているのか、それを伝えていくことによって、寄付に対する信頼が高まり、市民活動への支援がさらに広がると考えています。そこで大切なのは市民活動団体のそれぞれの情報発信力だと当センターは考えています。ITによる情報発信に躊躇している団体に、是非、ITを活用した情報発信のきっかけや意義、可能性について知ってもらいたいと思ったのが、このシリーズの始まりです。



#### ②実際の相談事例から感じたITの必要性

先日、企業さんから市民活動団体に寄付をしたいが、インターネットで検索しても、いつどのようにお金を使っているかが常にわかるようにしている団体が見つからなかったので、寄付先として信頼できる団体を紹介してほしいという相談がありました。これからCSRの取り組みの中でNPOとの連携を目指されている企業も出てきていますので、NPOも情報発信力をITで補完することが必要になってきます。

#### ③ITシリーズの活用方法

ITによる情報発信はなにも難しいことではありません。今回のITシリーズの74号には、ITを使うきっかけが書かれています。また、75号には誰のために情報発信をするのかという意義が書かれていますのでご参考下さい。手間やお金といったコストを気にされている方も、76号で紹介したような無料のブログをはじめてみることをお勧めします。

ITによる情報発信は日々、進化を続けているので、うまく活用し、共感の輪を広げてみてはいかがでしょうか。

淡海ネットワークセンタースタッフ 膽吹 憲吾

# 特集●淡海とびっくす

## いち にさん 1・23フォーラム報告 ～寄付でつくる地域の未来～

日時：2011年1月23日(日) 14:00～17:00  
会場：びわ湖ホール 中ホール・中ホールホワイエ

2011年4月に公益財団法人への移行を目指す淡海ネットワークセンターと(財)びわ湖ホールが共同で開催した「1・23フォーラム」。寄付に楽しさを取り入れ、寄付でつくる地域の未来を考えようと実施したフォーラムについてお伝えします。

### 堀田力さん ●プロフィール●

検事時代「カミソリ堀田」と呼ばれ、現在は福祉活動に情熱を注ぐ元特捜検事。京都大学法学部卒業後、検事任官。1976年東京地検特捜部検事としてロッキード事件を担当。90年法務大臣官房長、翌年最高検検事を歴任し、退官。95年さわやか福祉財団理事長(2010年4月公益財団法人化)。2009年日本ファンドレイジング協会の創設に関わり、代表理事に就任。



### 基調講演

## 寄付で生まれる心の絆

日本ファンドレイジング協会代表理事  
さわやか福祉財団理事長

堀田 力さん

私は五十年ほど前、大津地方検察庁の検事として大津で過ごしました。当時滋賀県は選挙違反で有名な地域だったのですが、今は市民運動や寄付が全国的にみても進んでおり、様々な市民活動が展開されています。

そこで今日は二つのことを一緒に考えたいと思います。一つは「なぜ税金を納めているのに、その他に寄付しなきゃいけないの?」という発想についてです。実際にそう考える人はまだまだ多いんです。しかし行政が保障するのは必要最小限のサービスなんです。でも例えば児童施設ではそれだけでは足りない。それは何かというと「心」なんです。

交通遺児を支える「あしなが育英会」は、行政では行き届かない支援を寄付で行っています。会長の玉井さんは四十年間の活動で八二〇億円の寄付を集めました。それだけ、遺児の方々を幸せにしたいという「あしなが」さんが日本にいっぱいいる

ということですね。これは行政の仕組みとどこが違うのかというと、温かい「心」です。親から切り離された子どもたちは決定的に寂しい。これはお金では埋められないものです。最近広がった「タイガーマスク寄付」はランドセルでしたが、名前は言えないけどあなたがたに幸せになって欲しいと思っているんですよという、このメッセージがこもっているんですね。これは税金では届かない。寄付として出すからこそ届くんなんです。

ですから、なぜ税金の他に寄付がいるのか、それは私たちがもっと人間らしく生きられる温かい地域社会をつくり、そこで楽しく人間らしく生きたいからだということになるでしょうね。

もう一つは、寄付というのは寄付者にとってどんな意味があるんだろうかということなんです。「タイガーマスク寄付」ではなぜ名前も明かさずにあちこちで多くの人たちが寄付を

持つていったのか。子どもたちが喜んでくれる、その喜びを生み出したということが大きな喜び、満足になるからです。

私は三年半アメリカの大使館で勤務した経験がありますが、付き合いのあったアメリカの司法官、裁判所の仲間は「寄付は最高の贅沢である」と言っていました。寄付をすると、寄付した相手のことを考えるようになります。例えば私は中国の四川省大地震の被災者支援や北朝鮮の子どもたちの食糧支援などに寄付しましたが、その後もずっと「幸せになっただか」「ちゃんと立ち直ったかな」と気になりますし、自分のことのように感じることもあります。自分の共感できる範囲が広がるんですね。それが大きな幸せや生き甲斐をもたらしてくれるんです。

このように、みんなの気持ちを集めてみんなで安心して暮らせる地域を作っていく。それが寄付の目指すところなんです。滋賀県でも、寄付を通して人が心もますます温かくなり安心出来るまちが生まれることを心から願っております。



対談

寄付でつくる地域の未来

堀田 力さん×大原謙一郎さん

(財団法人大原美術館理事長)

堀田力さんの基調講演を受けて、「寄付でつくる地域の未来」をテーマに、大原美術館理事長の大原謙一郎さんと、寄付を受ける側の立場について、また寄付を地域活性化に活かすためのポイントについて対談していただきました。

■寄付を受ける側の留意点は？

**大原** 大原美術館の場合は「大原美術館後援会」と「第三創業基金」の二つのフアンドレイジング(資金調達)があります。後援会は個人一万円、法人十万円の会費制で免税ではありません。基金は特定公

**寄付のために使命の優先順位を変えないことですね(大原)**

益増進法人で、寄付は免税になります。パンフレットの裏にはビッグネームが並んでいますが、これは法人から寄付を集めやすくするためです。総務の方が会社

のトップに、この寄付をさせてくださいという稟議書を書きやすいように工夫し

ています。寄付をする側の手続きを考え

た勧誘をするということですね。

**堀田** 私もさわやか福祉財団で寄付をいただく立場ですが、やはり寄付する方の気持ちを生かすということに尽きますね。そのためには、使命からはずれた活動に走らないこと。寄付を役員の飲食に使うのは最悪です。寄付する人は、思いを活かした活動をしているかを見ています。「思い」を頂戴しているわけだから、必ず形にすること、そして報告をすること。それが絶対に大事ですね。

**大原** そうですね。私たちも大原美術館の持っている価値観を可視化することを常に考えています。後援会のパンフレットでは、お金の用途について明記した上で、必ず報告しています。

**寄付は人を成長させ、同時に地域貢献にもなっていく(堀田)**

その中で大切なことは、自分たちの志と寄付者の意志にズレがあった時、寄付のために使命の優先順位を変えてしまわないことですね。

**堀田** そうですね。さわやか福祉財団の場合も、大資産家が「障害者を支える活動限定」で寄付を申し出てくださったことがありました。こちらの使命とは違ったので、他の団体を紹介したことがあります。志を受けるときにミスマッチにならないように、使命と目的を明確にすること、これは前提として一番大事です。

■自分の力を地域に活かすためのアドバイスをお願いします。

**大原** 私は滋賀県は多様性が力になっていると思うんです。多様だからこそ地域の様々なものを守ろうとする意志がすごく強い。その意志を私たちはこうやって実現していますよということに対して、お金を出すのではなく参画をいただくという意識をどんどん発信していけばよいのではないのでしょうか。お互いに日本をクリエイトするためにがんばりましょう。

**堀田** さわやか福祉財団の活動に、小学生のマッチングギフトがあります。子どもたちに手帳を配り、人が喜ぶことをしたら、ハンコを押してもらおう。それが十回分たまるとう手帳を送ってもらい、一冊当たりいくらというように賛同した企業が様々な活動に寄付します。寄付先はその子どもが指定するんです。例えばカンボジアに学校を造る支援に寄付すると、子どもたちは報告を通して、自分がやったことで人を幸せにしたという喜びを受け取ります。それが人間的な成長にもつながるんですね。このように寄付は人を成長させ、同時に地域貢献にもなっていきます。そんな人たちがどんどん増えるといいなと心から願っています。

■お二人からいただいたアドバイスを、私たちの心と行動で受け止めたいと思います。ありがとうございました。

大原謙一郎さん  
●プロフィール●

1940年神戸市生まれ。東京大学経済学部卒業。68年エール大学大学院博士課程修了。(株)クラレ副社長、中国銀行副頭取、岡山経済同友会代表幹事などを歴任。現在、大原美術館理事長として財団法人の経営に当たるかたわら、倉敷芸術科学大学客員教授として非営利事業経営論を講義。他に(財)倉敷中央病院理事長、倉敷商工会議所名誉会頭、(社)岡山県文化連盟会長等兼ねる。倉敷市在住。



パネル出展団体



滋賀県内の市民活動団体、社会貢献活動に取り組む企業、32団体がポスターで活動紹介をし、来場者と賑やかに交流しました。

【市民活動団体】

- NPO 法人 CASN  
子ども専用電話の開設や体験活動を提供
- NPO 法人 荻川  
荻川美化環境活動に子育て支援活動も
- m-fat / モファ  
子ども達の地域交流をアートで作る
- NPO 法人 サンタ  
外国籍児童の不就学対策、健全育成
- NPO 法人 あさがお  
障がい者、高齢者の権利擁護活動
- NPO 法人  
菜の花プロジェクトネットワーク  
食とエネルギーの地域自立・再生運動
- NPO 法人 HCC グループ  
まちなか再生、都市と地域の人の交流
- もりやまニコニコ人座  
守山から笑顔と笑いの輪を
- NPO 法人 日吉台の福祉を語る会  
あじさいくらぶ  
世代を超えて交流できる場づくり
- NPO 法人 甲賀の環境・里山元気を  
自然豊かな里山を子どもたちへ
- NPO 法人 鳩の街  
障がい者、高齢者、子どもを地域で支えあう
- 子どもミュージアムをつくる会  
子ども達が遊びをとoshした体験で学ぶ
- NPO 法人 絵本による街づくりの会  
絵本がとりもつ地域の居場所づくり
- 山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会  
生物多様性保全活動と貴重種の増殖
- 滋賀県若手藝術家集団  
Lapis mons (ラピスモン)  
地域で気軽に芸術を楽しむ場を提供
- NPO 法人 NPO ぼほハウス  
高齢者～子ども達の交流の場づくり
- NPO 法人 子どもネットワークセンター 天気村  
子ども環境ダイバーシティ計画発信！
- NPO 法人 おうみ犯罪被害者支援センター  
誰もが平穏な生活に戻れるように
- NPO 法人 コミュニティ・アーキテクト  
(近江環人) ネットワーク  
地域再生、地域活性化のために活動
- NPO 法人 五環生活  
人と環境にやさしい生活、交通を提案
- NPO 法人 子育てネットワーク 志賀うりぼう  
子育て支援からまちづくりへ
- 抱きしめて BIWAKO 実行委員会  
マザーレイクを25万人で抱きしめる

【企業・自治体】

- 株式会社 滋賀銀行  
お金の流れで地球環境を守る
- 株式会社 関西アーバン銀行  
関西をもっと元気に！
- びわ湖放送株式会社  
地域の情報や話題を集めて番組作り
- 株式会社 エフエム滋賀  
滋賀のよさの再確認キャンペーン中
- キタイ設計株式会社  
伊吹山山麓の柿園での CSR 活動
- 株式会社 滋賀レイクスターズ  
滋賀初のプロスポーツチームが地域活性化！
- 新江州株式会社  
循環型社会システム研究所  
もったいない、おかげさま、ほどほどに
- パナソニック株式会社  
ホームアプライアンス社  
地域社会と共に広げるエコ活動
- 淡海フィナンソロピーネット  
県内企業・団体の CSR、社会貢献活動を推進
- 滋賀県教育委員会事務局生涯学習課  
地域の人材、NPO、企業と学校を結ぶ

寄付イベント企画アイデア発表

寄付を集めるイベントと言えば、1987年に約26万人が琵琶湖の周りを人の鎖でつないだ「抱きしめて BIWAKO」が思い出されます。重度心身障害児者施設びわこ学園の移転費用を集めようと参加費1,000円を出して人々が集まりました。

多くの人を楽しみながら参加できる寄付イベント企画アイデアを募集しました。応募4団体の中から3団体に会場で発表していただきました。

■ 循環型社会創造研究所えこら

お金ではなく資源物で寄付する連結イベントアイデア。①地域のイベントや祭り、清掃活動などに資源物(缶、ペットボトル、ペットボトルキャップ、古紙、新聞、雑誌、ダンボール、廃てんぷら油)を持参してもらいます。②イベント「エコ城デイ」を開催。ダンボールや資源物で城を造り、その中で環境セミナーを行います。①②のイベントで集めた資源物をリサイクル会社に売却し、収益の一部を「マザーレイク滋賀応援寄付」に寄付します。参加者はお金なしで寄付することができます。



■ 滋賀県フットサル連盟

ブラジル人学校「サンタナ学園」では、一人あたりの授業料が3～5万円であるため、経済的に厳しいブラジル人家庭の大きな負担となっています。そのため授業料を払えず学校に通えない子どもが増えていきます。各種学校の認可を受けると一人あたり6万9千円の助成が受けられます。そこでこれを目標に、2月27日、サンタナ学園の子どもたちと近隣に住む子どもたちのチャリティー駅伝を開催。サンタナ学園各種学校設立応援プロジェクトを地域のみなさんに知っていただく機会とします。



■ びわ湖ホール劇場サポーター

びわ湖ホールの眺望を活かして「びわ湖ホールウエディングセレモニー」を企画。びわ湖ホールで結婚式を挙げ、併設のレストランで披露宴ができるプラン。チャペルやウエディングベルなどは芸術大学の学生によるコンペで作成し、びわ湖ホール声楽アンサンブルのコーラスやテラスにバージンロードを設けるなど、個性的なオプションを盛り込んだ結婚式をプロデュースして、その収益を寄付金として、舞台芸術をみなさんに広げる活動のために充てていきます。



まとめ

市民の想いを込めた寄付を市民活動へつなぎ、誰もが市民活動に参加できる仕組みとなる「未来ファンドおうみ」。そのキックオフイベントである今回のフォーラムに約350名のご来場がありました。児童養護施設などへの寄贈が続くタイガーマスク現象もあり、寄付が身近に感じられるようになってきている気がします。寄付への信頼を高め、寄付文化を広げ、おたがいがさまつながり、活きる地域のために、「未来ファンドおうみ」は4月から始動します。詳しくは、当センターホームページをご覧ください。



**話** 育児広場アプリコット(甲賀)

鹿田さんは、自分の子育てがきっかけで、十三年前から子育て中のママのために活動を始め、そして、サロンを五年前から始められました。サロンを継続的に開くことができ、アプリコットの拠点となる場が欲しいと、水口の商店街の空き家を改装して二〇〇九年に「コミュニティカフェアプリコット」を開きました。この改装には、ネットワークセンターの助成金を受けました。

地元産の杉を使った内装は、温かな雰囲気です。ゆったり親子が遊べる安全なスペースになっており、知らない人同士でも、すぐ仲良しになるようです。親子で食事に行っても子どもがうるうるして、ゆったり食事をしたりおしゃべりが出来ないの、カ

**親子で出かけよう、育児ひろばアプリコット**



▲ホールと緩やかにつながるキッズルーム



▲床に座ってくつろげるホール

フェ風にしてママたちに子連れでもランチができ、なおかつ子どもも遊べる場を作りました。そして、お家を出るきっかけも作り

もっとももっといっばい出来るのが夢なので

（おうみネットサポーター 香林美由紀）

**育児広場アプリコット**

代表●鹿田由香  
 設立●2006年  
 連絡先●甲賀市水口町本町1-5-31  
 TEL 0748-64-0416  
 URL <http://kokakosodate.shiga-saku.net/>  
 ブログ <http://apricot.shiga-saku.net/>



▲週替わりランチはドリンク付きで600円。

# NPOのわっ WA

**輪**

**話**

**和**

地域や社会を良くしていきたいとがんばっている市民活動・NPOを紹介します。興味を持たれた団体に連絡してみませんか？

**おうみネットを一緒につくりませんか？**

おうみネットサポーターを随時募集しています。興味のある方はセンターまでお問い合わせください。

このコーナーは「おうみネット」発行をサポートする「おうみネットサポーター」が市民活動団体・NPOの情報提供から取材・執筆までを行っています。



**話**

●「育児広場アプリコット」はカフェのほか、講座・イベント・サークルなど親子で交流しあえる仕掛けがいっぱい！

**輪**



●研究者と市民が「健康」をテーマに交流「お出かけ0次カフェ」

**和**



●特定非営利活動法人どこでも介護の活動風景。近江八幡まで月1回歌声喫茶に参加されます。思いっきり歌って、ストレス発散！

### 人と人とのつながりを大切に 市民パワーで心と体の健康づくり

二〇〇七年から、長浜市と京都大学が提携し、「ながはま0次予防コホート事業」が進められています。健康づくり0次クラブはこの事業に積極的に関わっています。この事業は健康づくりの推進を図るとともに、血液や尿、健康情報などを蓄積し、管理運用し、医学研究を通じて次世代の健康づくりに貢献するものです。0次予防というのは一人ひとりの体質に合わせて生活習慣の改善を行い、予防を推進するという考え方です。0次健診という中心血圧測定や七百項目に及ぶ質問票など様々な検査項目を受診し、調査することで将来の医学発展へつなぎ、病気の予防のきっかけにしてもらうという事業です。

難しそうな医学を市民に身近に感じてもらうために「おでかけ0次カフェ」やシンポジウムなどを開催し

てきました。二〇一〇年五月には長浜バ「いきいき健康フェスティバル」を開催し、一日で約六千人が参加され大盛況でした。子どもからお年寄りまで参加でき



▲いきいき健康フェスティバルのにぎわい

るよう工夫し、中には三世代で参加される方もおられました。0次健診は受診者の目標だった一万人を二〇一〇年十一月に達成しました。今後は、この事業でできた人のつながりを中心に、市民の心と体の健康づくりのために取り組めます。例えば健康に欠かせない睡眠について「睡眠時無呼吸症候群」の調査に取り組むことにより、不眠から大人や子ども

の生活習慣やうつ・自殺の問題など様々な課題が見えてきて、健康の問題が心にながっていることがわかります。課題を解決しようとする人々がつながっていくのが、この活動の醍醐味と代表の辻井さんは語っていました。  
(おうみネットサポーター 山名朋希)



▲0次健診中心血圧測定の様子

### 旅は最高のリハビリ！ 「いくつになっても出かけたかった」を応援

理学療法士としてリハビリの仕事に携

わっていた当時、「こんな歳になつたら、こんな身体ではもう無理や…」というあきらめの言葉をたくさん聞いてきたというNPO法人どこでも介護・代表の大西さん。出かける目標があり、連れて行く人がいれば出かけられ

るはずだという思いから、お年寄りや体の不自由な人の外出を支援する活動をスタートしました。



▲ご夫婦の金婚式の記念旅行。車いすで船に乗れるとは思っていませんでした。

最初は代表の大西さん一人で、無償ボランティアとして仕事が休みの日に少しずつ外出支援を始めました。が、旅行介護の責任やリスクの重さを実感。しっかりと対応するために組織をNPO法人化し、料金も設定しました。まずお出かけの希望や不安をじっくり聞き、その人の心と身体の状態に合わせて、生き生きと安全に楽しんでもらえることを大切にしています。「電車に乗って行きたい、お墓参り

に行きたい、好きなプロ野球のチームを甲子園で応援したいなど、行き方や場所にはそれぞれ大切な意味があり、旅の伴走者としてその人の生き様や歴史に触れ、学ぶことが財産になっています」と大西さんは話します。

外出することで自信を取り戻される姿に元気をもらう一方、独り暮らしの方の日常生活や介護家族へのサポートの必要性も見えてきました。活動五年目を迎える今年からは、旅行介護とともに入院時の付き添いや買い物といった生活支援事業も充実させていきたいとのこと。介護家族が気軽に語り合える「介護カフェ」を一月から毎月一回開催予定です。  
(おうみネットサポーター 小林由季)

特定非営利活動法人  
どこでも介護

代表●大西友子  
設立●活動開始2006年 法人化2009年  
会員●10人 連絡先●大津市瀬田5丁目12-12  
TEL : 090-3675-1088  
e-mail happy@dokodemo-kaigo.com URL :  
http://www.dokodemo-kaigo.com/index.html



▲昔、ご主人と行った思い出の鳥取砂丘に是非もう一度行ってみたいと86歳女性。

特定非営利活動法人  
健康づくり0次クラブ

代表●辻井信昭 設立●2009年(法人設立)  
連絡先●長浜市湖北町速水1910  
長浜市保健センター湖北分室内  
TEL : 0749-50-3191 FAX : 0749-50-3193  
e-mail : zeroji-club@zeus.eonet.ne.jp  
URL : http://zeroji-club.com/





## 市民活動、NPO 運営のご相談いつでもどうぞ！



MS&AD インシュアランスグループでは、環境への取り組みとして、今年度からラムサール条約登録湿地を中心とした「水辺の生物多様性保全活動」を推進することになりました。

今年度は、琵琶湖での活動を含め、全国8ヶ所で開催します。

琵琶湖湖岸の保全活動および学習について、一緒に活動し、指導していただける団体を紹介してください。



琵琶湖の環境活動団体が集まっているウォーターステーション琵琶湖の会をご紹介します。ウォーターステーション琵琶湖の会は、大津市南郷にあるウォーターステーション琵琶湖を拠点に琵琶湖をテーマに活動する環境系の団体が集まってネットワークを作っています。水辺での清掃活動、環境学習体験など取り組みたい内容にあった団体と一緒に活動ができると思います。

<その後>

当日プログラムの検討や、東京の本部からも打ち合わせに来られた時も同行して進めました。本部の取り組みに対する考えと、実際に活動に参加される近畿圏の社員

の考えや意識にギャップがあると活動がすすめづらいのではないか、という思いがありました。11月の当日は晴天に恵まれ、80名以上の方が南郷洗堰付近の清掃と、各NPO団体の活動体験に参加しました。センターのスタッフも本活動に参加し、企業とNPOの協働する姿を見届け、今回の成功事例を今後につなげていきたいと考えています。



## NPO 会計相談会 ～不安解消！らくらく決算～

決算に向けて、日頃の運営・会計の疑問や不安を解消しませんか？NPO会計に詳しいスタッフ・税理士が、じっくりお答えいたします。このチャンスをお見逃し無く！

### ●米原会場

日時：3月24日13時30分～  
場所：米原公民館 研修室

### ●大津会場

日時：3月27日13時30分～  
場所：県民交流センター（ピアザ淡海）

### ●相談料：2,000円(1団体・1時間半、2名程度)

●申込方法／3月18日(金)までに、名前、団体名、住所、電話・FAX番号、メールアドレス、質問内容を淡海ネットワークセンターまでご連絡ください。

## おうみNPO活動基金2010特別粋助成プログラム 「びわこ市民活動応援助成事業」成果発表会

2010年10月～2011年3月まで、「びわこ市民活動応援助成事業」で助成を受けた6団体が成果発表を行います。

「びわこ市民活動応援基金」は関西アーバン銀行(旧びわこ銀行)と行員の皆様からボランティアや市民活動の支援を目的に寄付いただき設立しました。

助成金の申請を考えておられる団体の方、ぜひご来場ください。

●日時：2011年4月23日(土)午後

●会場：県民交流センター(ピアザ淡海) 305会議室

※詳細につきましては、当センターHPに掲載いたします。

## 淡海ネットワークセンター

### (財)淡海文化振興財団

淡海ネットワークセンターは、県内の市民活動、NPOをサポート・ネットワークしています。

■〒520-0801 大津市におの浜1-1-20 ピアザ淡海2階

■TEL 077-524-8440 ■FAX 077-524-8442

■http://www.ohmi-net.com

■E-mail:office@ohmi-net.com

開館時間／9:00～17:00 休館日／月曜日・祝日

●情報交流誌「おうみネット」は次のところに配布しています。

県内図書館、琵琶湖博物館、男女共同参画センター、文化産業交流会館、陶芸の森、びわ湖ホール、滋賀県国際協会、県内大学、県内NPO法人、県内市民活動センター、草津市立まちづくりセンター、県民協ボランティアセンター、大津市生涯学習センター、栗東芸術文化会館さくら、滋賀銀行、京都信用金庫、関西アーバン銀行、滋賀県信用組合、公民館、市役所、各地域環境総合事務所、県民情報室など

## 編集後記

子どもが幼い時に「アプリコット」があれば毎日通っていたらうな～と、思います。のんびりできて、そこにいけば誰かお友達が居てゆっくりお話しが出来る場所なんて、あまりないですよね。取材に行ってそう感じました。  
(おうみネットサポーター 香林美由起)

0次クラブが発行している広報誌は「げんき玉」。その名前からも健康づくりへの思い・市民のパワーが伝わってくるようです。代表の辻井さんが「行政改革よりまずは市民改革」と仰っていたように、私も市民パワーでがんばろうと改めて思えるような取材となりました。  
(おうみネットサポーター 山名朋希)

バリアフリー対応の旅館・ホテルの情報は、インターネットでずいぶん調べやすくなっていますが、下見のできない遠出の場合、頼りになるのは利用者の声。“こんな良い設備・サービスだった！”という声を、ぜひNPO法人どこでも介護さんへお寄せください。  
(おうみネットサポーター 小林由季)

淡海ネットワークセンターは  
2011年4月、公益財団法人に移行します。

おたがいさまがつながり、生きる。



個人の気持ち、企業のCSR、  
様々な“志”を地域を支える市民活動へ、  
しっかりつなげます。

寄付をお考えの方、詳しい内容を知りたい方、お気軽にお問い合わせください。

## オーバル琵琶湖体験学習STAFF(登録制)を募集します。

主に小・中・高校生を対象に、琵琶湖でのスポーツ体験学習の運営補助をしていただきます。環境や教育に興味のある方、歓迎です。経験がなくても大丈夫。お気軽にお電話ください。



アウトドアスポーツクラブ

オーバル

大津市雄琴 5-265-1  
TEL.077-579-7111  
http://www.o-pal.com/

- 時給:800円  
(研修期間は720円)
- 交通費支給(上限1,000円)
- 勤務時間:3～8時間(応相談)

キタイ設計は本年、創業60周年を迎えます。



CSR活動「キタイ汗かき隊」  
伊吹で柿を作っています。  
今秋の爽りにごキタイください!

キタイ設計(株)

【本社】近江八幡市安土町上豊浦1030  
【支社】兵庫・京都・大阪・山口・神奈川

## 市民活動・人・企業との出会い広がる情報交流誌 「おうみネット」掲載広告募集中!

- ★発行部数10,000部
- ★県内外の配布先約1,900カ所
- ★1枠(横9.3cm×縦3.5cm)15,000円

詳細は、当センターまでお問い合わせください!

